

町総合計画に基づき美郷の形づくりに努めた平成19年度の決算のうち、一般会計を中心に主な事業と決算額をお知らせします。

(決算額は千円未満を省略してあります)

- **ごみ減量リサイクル対策事業** **368万2千円**  
ごみの有料化に向けた研究・検討を行い、住民や販売店に対する説明会を開催しました。また、ごみ減量化キャンペーンの企画や町指定ごみ袋の見本を全戸配布しました。
- **確かな学力定着事業** **2,614万8千円**  
複式授業解消のための講師を配置したほか、生活支援を要する子どもへの支援員の配置などを実施し、児童生徒個々の学習状況に応じた指導を行いました。
- **美郷ブランド確立事業** **327万2千円**  
転作田において指定品目を新規・拡大作付した農業者および美郷こだわり米を新規・拡大作付した農業者に助成を行いました。
- **畜産環境整備事業** **1億4,850万2千円**  
地域内の家畜排せつ物を適正処理し、畜産環境の改善や良質で安価な有機質肥料の供給、耕畜連携による循環型農業の確立のため、美郷町堆肥センターの建設工事などを実施しました。
- **ほ場整備事業支援事業** **6,440万3千円**  
町内1地区の面工事を施工するとともに、4地区で基礎調査や換地業務、補完工事を実施しました。
- **街なみ環境整備事業** **3,246万2千円**  
六郷地区の清水、寺などの歴史的資源を活かし、住民や観光客が安全で楽しく散策できるよう回遊ルートの整備工事などを実施しました。
- **道路維持・新設改良事業** **6億9,018万3千円**  
町内幹線道路の改良工事のほか、道路の維持補修、除排雪作業を行いました。



3



4

平成19年度の美郷町一般会計および5つの特別会計の決算が、9月8日に開かれた町議会定例会で認定されました。

平成19年度は財政規模の縮小という流れの中、公共施設のあり方について根本的に議論するなど、将来に向けて何に投資し、何が削減できるかを改めて検討しながら、歳入規模に見合ったスリムな行政経営に努めました

## 一般会計決算

経常収支比率91.4%に改善

平成19年度一般会計決算額は歳入122億8,123万5千円、歳出118億179万4千円で、歳入歳出差引4億7,944万1千円の黒字となりましたが、平成18年度からの繰越金6億8,688万4千円を差し引いた単年度収支は2億744万3千円の赤字となりました。

財政の弾力性を示す経常収支比率[町税や地方交付税など町が自由に使える収入に対する人件費や社会保障費、公債費(借入金の返済)など毎年必要となる経費の割合]は91.4%となり、18年度決算の93.3%に比べ1.9ポイント改善されました。起債の償還がピークを迎えたことにより公債費および扶助費(生活保護など社会保障に要する経費)の比率は増加していますが、その他の項目についてはすべて前年度を下回ったことによるものです。しかし、人件費を含め国体関連経費が臨時的な経費に計上されているという特殊な事情を考えると、引き続き経常経費の削減に向けた取り組みを継続していかなければなりません。また、公債費が町の財政にどれだけ負担をかけているかを判断する指標である実質公債費比率は19.4%となり、18年度決算の19.5%に比べ0.1ポイント改善しています。この理由としては、土地改良事業受益者負担金元利償還金に対する補助金を一括交付するなど、公債費負担の適正化に向けた取り組みを行ったことが挙げられます。

町では今後も、こうした指標をふまえた行財政改革を推進するとともに、公債費などの後年度に負担しなければならぬ経費の軽減策を講じるなど、財政健全化に向けた取り組みを強化します。

## 特別会計決算

各会計とも歳入歳出同額または黒字決算

特別会計とは、特定の事業を行うための歳入歳出を、一般会計と区別して別個に処理するための会計です。

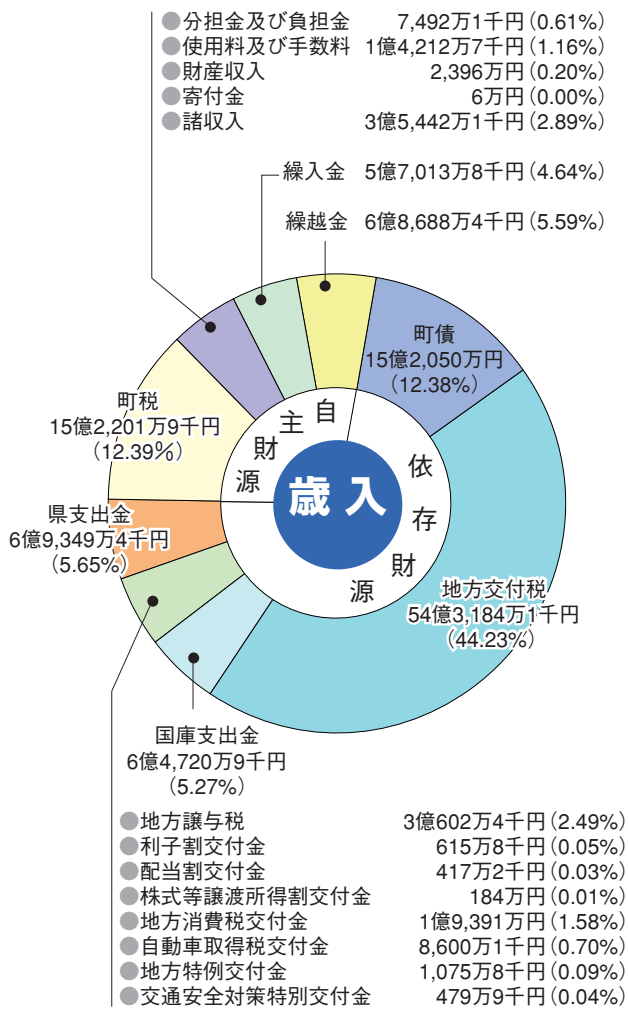
本町の場合は、国民健康保険・老人保健・簡易水道・下水道・農業集落排水の5つの特別会計があり、19年度決算においては、各会計とも歳入歳出同額または黒字決算となりました。

平成19年度特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	25億6,723万4,089円	23億4,702万6,946円
老人保健特別会計	24億9,113万5,740円	24億9,113万5,740円
簡易水道事業特別会計	5億9,258万3,681円	5億8,817万3,107円
下水道事業特別会計	2億1,109万7,414円	2億526万2,711円
農業集落排水事業特別会計	2億3,820万5,380円	2億3,115万1,136円
合計	61億25万6,304円	58億6,274万9,640円

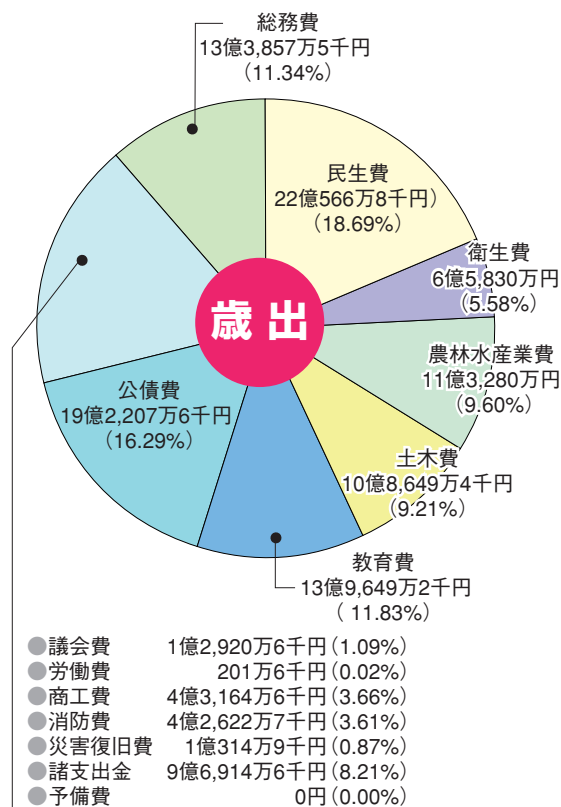
# 平成19年度 決算報告

## 平成19年度の主な事業と決算額



※端数処理のため、合計額とは一致しません。

## 平成19年度一般会計決算



※端数処理のため、合計額とは一致しません。

**1 秋田わか杉国体準備事業 1億5,968万9千円**  
第62回国民体育大会秋田わか杉国体の自転車競技会を美郷町・大仙市特設ロードレースコースと六郷自転車競技場で、バドミントン競技会を総合体育館リリオスで開催しました。

**● 行政区機能強化事業 1,601万4千円**  
行政区活動の円滑な推進のため、行政区の担う役割を実施するための基本的な活動に対して交付金などを交付するとともに、地域活動の拠点となる会館などの整備に対して補助金を交付しました。また、行政区の再編統合に関する話し合いおよび準備に要する経費の一部を助成しました。

**● 防犯対策事業 2,502万3千円**  
防犯灯の設置および維持管理により、犯罪の未然防止に努めました。また、町内の防犯関係団体へ補助金を交付しました。

**● 消防設備整備事業 865万6千円**  
災害時における消防団の機動力確保のため、六郷地区にコミュニティ消防センターの建築などを行いました。

**● すこやか子育て支援事業 1,762万5千円**  
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、満1歳未満の子どもを持つ保護者に、乳児養育支援金を支給しました。

**● 成人総合健診および乳幼児健診事業 9,086万7千円**  
成人の早朝総合健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を促し、健康に対する認識と自覚の向上を図りました。また、乳幼児健診および健康相談などを実施し、乳幼児の心身の健やかな成長に寄与しました。

**2 不法投棄対策事業 128万6千円**  
不法投棄監視人による巡回監視を実施しました。また、国体開催前に、一般参加ボランティアを募り清掃活動を行いました。



1



2